

子どもと教師をつなぐ 〈ソーシャルメディア型ロボット〉の開発

～ロボットや生成 AI、遠隔コミュニケーション技術
を生かした新たな学習基盤づくり！～

豊橋技術科学大学

教授 岡田 美智男

(株)ICD-LAB

長谷川 孔明

(株)ヒミカ

尾崎 逸男

成果概要

小学校の教室や療育の場における「新たな学習基盤」として、子どもと教師との間をつないだり、子どもたちの療育を支援するための〈ソーシャルメディア型ロボット〉を構築した。具体的には、子どもたちに昔話を語り聞かせようとするも、時々、大切な言葉を物忘れしてしまう〈トーキング・ボーンズ〉、子どもたちの問いかけに対して、言葉を補いながら説明してくれる〈ブリコロ〉、没入型ディスプレイにより遠隔操作可能な〈オズ・ボーンズ〉、子どもたちと一緒に絵本を眺めながらおしゃべりを楽しむ〈ポケットابل・ボーンズ〉である。

実証試験の結果

- 言葉を補いながら説明しようとする〈ブリコロ〉や時々言葉を物忘れしてしまう〈トーキング・ボーンズ〉は、教室や療育の場におけるコミュニケーションデザインのための有用なツールとなる。
- 没入型ディスプレイにより遠隔操作可能な〈オズ・ボーンズ〉は、療育者などがロボットの中に入り込むようにして、子どもと間接的に関わるためのロボティック・インタフェースを提供する。
- 〈ポケットابل・ボーンズ〉は、養育者や友達と一緒に絵本を眺めながら会話を楽しむような場を生み出すことができる。



子どもと教師との間をつなぐための
〈ソーシャルメディア型ロボット〉



子どもたちに昔話を語り聞かせようとする
〈トーキング・ボーンズ〉の様子



没入型ディスプレイ等により遠隔操作可能な
〈オズ・ボーンズ〉の様子



一緒に絵本を眺めながら会話を楽しむことができる
〈ポケットابل・ボーンズ〉

今後の展開

〈ブリコロ〉や〈トーキング・ボーンズ〉は、幼稚園や小学校、療育の場で活用していく。没入型ディスプレイにより遠隔操作可能な〈オズ・ボーンズ〉は、新たな療育支援ツールや授業への参加手段の提供など、様々な応用領域への展開を図りたい。

- お問い合わせ先：豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 岡田 美智男
okada@tut.jp 電話番号：0532-44-6886 FAX：0532-44-6873
- 特許の有無：無